

平成 28 年度  
学校関係者評価結果報告

平成 29 年 9 月 13 日

学校法人 榎本学園  
町田調理師専門学校

平成 29 年 9 月 13 日

町田調理師専門学校  
校長 榎本 美千代 殿

学校関係者評価委員会

## 学校関係者評価委員会報告

平成 28 年度学校関係者評価につき、下記のとおり評価結果を報告します。

### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- ① 橋本 暁一 (公益社団法人日本中国料理協会 参与)
- ② 永井 紀之 (有限会社アルチザナル 代表取締役)

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

平成 29 年 9 月 12 日 16:00~17:00

(会場 町田調理師専門学校 校長室)

出席者：橋本 暁一、永井 紀之、榎本 美千代 (校長)、土橋 一輝  
(副校長)、松下 祐介 (事務部長)

#### 3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以 上

別紙

## I 重点目標について

### 1 重点目標①について

卒業生やバリスタによる特別授業は学生のモチベーションの向上に効果的な取組みの一つと評価できますが、「自分で考えて動く」ことが身につくようなカリキュラムをつくることができれば理想かと思います。

### 2 重点目標②について

挨拶については、指導が行き届いていると思います。相手がだれであろうときちんとした挨拶ができるよう引き続き指導をお願いします。

## II 各評価項目について

### 1 教育理念・目的・人材育成像

重点目標①と重複しますが、貴校の人材育成像である「自主独立優秀なる」調理師の「自主」の部分が最近の新人には特に欠けているように見受けられますので、学生の「自主性」を伸ばすことに力を注いでほしいと思います。

### 2 学校運営

特にコメントはございません。引き続き、永続的な教育活動を行うべく、適切な学校運営を心掛けていただきたいと思います。

### 3 教育活動

インターンシップは、学生の今後のキャリアに大きく影響を与えると思いますので、引き続き、本人の希望・適正等を極力考慮にいれて受け入れ先を選定することに注力してもらいたいと思います。そのためにも、入学後早い段階でどのような分野、就職先があり、それぞれどんな特徴があるか等、調理師業界について学生に具体的に教える機会があったほうがよいと思います。調理師科（1年制）の学生については、時期や期間等を再考してもよいかもしれません。

### 4 学修成果

現場に受け入れてもらえる様に挨拶や時間を守るなどの基本的なマナーを教育や衛生観念が身に着く指導をしてほしいと思います。

### 5 学生支援

クラス担任を中心として、きめの細かいケアをしていると思います。引き続き、現在の体制を維持してもらいたいと思います。

## 6 教育環境

設備は充実しており、衛生面でも問題なく、比較的恵まれているとの印象を受けます。どんな職場でも整理整頓・掃除は必須です。引き続き、学生にはこれらの点の指導をお願いしたいと思います。

## 7 学生の募集と受入れ

入学してから「こんなはずではなかった」と学生が思わないように、誇大・偽装は言うまでもなく、誤解を招くような表現をしていないか、常に検証して頂きたいと思います。

## 8 財務

少子化の影響は少なからずあると思いますが、教育活動を永続させるためにも引き続き、健全な学校運営をお願いしたいと思います。

## 9 法令等の遵守

法令遵守は当然のことと受け止め、遵法意識を高め、学校運営を行っていただきたいと要望致します。

以 上

平成 28 年度  
学校関係者評価結果報告

平成 29 年 11 月 7 日

学校法人 榎本学園  
町田福祉保育専門学校

平成 29 年 11 月 7 日

町田福祉保育専門学校  
校長 岩本 太三 殿

学校関係者評価委員会

### 学校関係者評価委員会報告

平成 28 年度学校関係者評価につき、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

#### 1 学校関係者評価委員

小泉 昇（公益社団法人 神奈川県社会福祉士会 会員）  
森田 健一（社会福祉法人 合掌苑 マネージャー）  
野村 明洋（一般社団法人 東京都民間保育園協会 会員）  
島田 恭子（社会福祉法人 真生会理事長）

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

第 1 回委員会 平成 29 年 11 月 7 日 15:00～16:00

（会場 町田福祉保育専門学校 図書室）

#### 3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

## I 重点目標について

入学定員の確保は、特に介護系学科では厳しい状況が続いています。  
全国的な傾向とはいえ、とにかく多様な生徒募集策を講じていただきたい。

10倍以上の求人をいただき、ほぼ100%の就職率から見ても、社会に必要とされていることは明らかなので、永続的な教育活動を継続させるべく学校運営に力を注いでください。

## II 各評価項目について

### 1 教育理念・目的・育成人材像

「福祉サービスのスペシャリストを育成し実社会に送り出すこと」と目的にあるとおり、介護福祉士・保育士の育成に向けて、社会的使命としても改めて力を注いでいただきたい。

### 2 学校運営

少子化により学校運営は当面厳しい状況が続くでしょうが、永続的な教育活動を行うべく、適切な学校運営にご尽力ください。

### 3 教育活動

関係分野での卒業生の活躍で、好評価を得ていることは、求人の多さからもわかります。教育活動は自信を持って、今後も継続して努力していただきたい。

### 4 学修成果

介護系学科も保育系学科も就職率はほぼ100%ですが、その先の課題として「辞めない」人材を育成するためにも、介護・保育の魅力やこの業界で生きていくことの心構えを、実習等において現場と共に教育し、さらに学校においては基本的な生活習慣や社会人としてのマナーの教育、指導を重視していただきたいと思います。

また、介護福祉士は28年度入学生より国家試験受験となるため、高い合格率を保てるような学習指導を期待します。

### 5 学生支援

学生指導においては、クラス担任の果たす役割が大きいでしょうが、教職員が一丸

となって一人一人の学生と向き合う面倒見の良さがこの学校の特徴でもあるので、引き続き現在の体制、風土を維持してもらいたいと思います。

## 6 教育環境

設備は充実しており、問題ないとの印象を受けます。  
外部の方から「清潔、きれい」との声が多いとのこと。非常に重要なことですので、是非その状態を維持していただきたいと思います。

## 7 学生の募集と受入れ

介護福祉士養成施設は、おしなべて厳しい募集環境にある中で国家試験受験化によりますます生徒募集の困難さが懸念されるが、重点目標にもある通り、保育士養成とともに国家的課題であるとの認識に立って、多様な策を講じながらとにかく全力で取り組んでいただきたい。

## 8 財務

厳しい状況が続くことですが、健全な学校運営を継続してください。

## 9 法令等の遵守

法令遵守は当然のこととして意識を高め、学校運営を行っていただきたい。

## 10 社会貢献・地域貢献

社会貢献・地域貢献の精神は社会福祉に携わる者にとってかけがえのないものです。学生一人一人のボランティア活動などの地域貢献を活発にして欲しい。また学校として可能な地域貢献にも積極的に取り組んでいただきたい。

以 上

平成 28 年度  
学校関係者評価結果報告

平成 29 年 9 月 5 日

学校法人 榎本学園  
町田美容専門学校

平成29年9月5日

町田美容専門学校

校長 結城 達生 殿

学校関係者評価委員会

## 学校関係者評価委員会報告

平成28年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- ① 鈴木 則子（東京都美容業生活衛生同業組合 組合員）
- ② 河島 健（一般社団法人 一生美容に恋する会 代表理事）
- ③ 長谷川 雅一（株式会社エムエイチ 代表取締役）

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

第2回委員会 平成29年7月28日（会場 町田美容専門学校 図書室）

#### 3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

## 【別紙】

### I 重点目標について

#### 1 重点目標①について

今年度は、OB・OGによるシャンプー授業と共に職業講話とヘアショーを実施した。先輩という立場からの具体的で確かな指針が示され現在の自分に少しは自信がもてる良い機会となっている。

職業実践専門課程は年々実社会とのつながりも広く深くなり、学生の職業意識や学習意欲も向上していると感じる。

ただし、職業意識や学習意欲にはレベル差があるため、すべての学生に変化があるとは言いがたい。より一層、内容を再検討し、充実を図る必要がある。

#### 2 重点目標②について

挨拶、マナー教育の徹底は、将来の中途退職者にならない学生育成につながっていくと思います。より一層の指導を希望します。

キャリア教育を踏まえ、年金セミナーや租税教室の開講は社会人としての自覚を促すよい機会となっている。

学外実習の受け入れ側（企業）として、年々学生の挨拶や礼儀、そして実習態度や意欲に変化がみられ、よくなっていることを申し添えます。

### II 各評価項目について

#### 1 教育理念・目的・人材育成像

- ・明確な目的・育成像を明示していると思う。
- ・頑張る人よりも頑張れる人を養育する教育機関として、これからも伝え続けてほしい。
- ・少子化により、学生数は減少傾向となるが、普遍的な理念・目的を自覚し、常にその時代にマッチした将来的な構想を考える必要がある。

#### 2 学校運営

- ・各種の制度、システム、カリキュラム等、時代のニーズを的確にとらえ、変革改革を恐れず対応してほしい。
- ・教職員のチームワーク、動きの良さをいつも感じている。次世代への伝承を心掛けている様子が見られ、好感がもてる。
- ・今後の理容習得者課開設に向け、施設・教員補充カリキュラム等の準備が大事となる。

#### 3 教育活動

- ・教育のカリキュラムは充実していると思う。今後は、社会の変化に速やかに対応するスピードも重要になってくると思う。
- ・SNSに関する講習・講義を実施しているが、今後も継続する事を希望する。
- ・町田美容専門学校やOB・OGの社会的評価の良さを聞く機会があると関係者としてうれしく思う。

## 【別紙】

### 4 学修成果

- ・学生の技術力、就職率・退学率等の良い結果に、教職員のサポート・粘り強い対話・指導力が表れていると思う。
- ・就職率の高さはよく維持されており、今後も継続されることを希望する。
- ・高齢者社会に相応しい福祉美容への取り組みやその内容が素晴らしい。

### 5 学生支援

- ・学費負担の軽減を目的としたアルバイト進学制度や奨学金制度の拡大を望む。
- ・経済的理由から進路変更の学生を減らす意味でも、より一層の学費軽減制度の充実をお願いしたい。
- ・卒業生の支援も重要である。入社後のサポート体制に不備不足感が否めない。企業との連絡を密にし、より一層サポート力を高める事を希望します。

### 6 教育環境

- ・校舎がいつもキレイにされていて感心する。
- ・実習・学科ともに最新の美容界を伝える意味で講師の切り替えも重要と考える。
- ・現状のままで問題はないが、新課程を開設予定の場合は、普通教室の増設と着付け教室の充実が必要となる。

### 7 学生の募集と受入れ

- ・学生募集はどの学校においても苦勞していると聞いている。その中で町田美容は健闘していると思うが、一般への広報活動を SNS 等の利用も含め、より具体化させる時期と考える。
- ・榎本学園 4 校合同での広報活動がある一定ラインまではプラスとなるが、各業界の差を考慮した募集要項や社会人への広報ツールは検討する必要がある。
- ・派手さはなくとも、堅実な広報活動は榎本学園らしい今後も続けてほしい。

### 8 財務

- ・現状にまったく問題ないと思う。
- ・適正なもの認知している。

### 9 法令等の遵守

- ・現状にまったく問題ないと思う。

### 10 社会貢献

- ・学生時代に、地域・社会への貢献やボランティアを体験できる機会のあることは素晴らしい。
- ・学生時代に芽生えた、社会の中で生かされている実感やボランティアの心が実社会でより一層成長するという考えに共感する。

以上

平成 28 年度  
学校関係者評価結果報告

平成 29 年 8 月 30 日

学校法人 榎本学園

町田製菓専門学校

平成29年8月30日

町田製菓専門学校  
校長 榎本 雄文 殿

学校関係者評価委員会

## 学校関係者評価委員会報告

平成28年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- ① 前田 聖子 (東京都洋菓子協会 理事)
- ② 佐藤 哲哉 (株式会社ありあけ 執行役員)
- ③ 松村 有希子 (株式会社ありあけ 卒業生)

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

第4回委員会 平成29年8月30日 (会場 町田製菓専門学校 カフェ実習室)

#### 3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

## I 重点目標について

### 1 重点目標①について

実践的な職業教育機関として、実社会と接点を持つということは重要です。前年同様、今後も、企業関係者の特別実習や講義を積極的に取り入れていく事を引き続き期待したいと思います。

### 2 重点目標②について

社会人としてのマナーや礼儀というのは、実践教育を掲げる専門学校にとってとても重要なテーマです。引き続き目標を掲げて指導してください。

## II 各評価項目について

### 1 教育理念・目的・人材育成像

社会のニーズが多様化してきている現代においては、洋菓子、パン、カフェなど様々な知識・技術を習得する機会を設けることは、とても大切なことだと思います。引き続き、社会のニーズに合致した人材育成を心がけてください。

### 2 学校運営

特になし。

### 3 教育活動

資格取得に向けて、試験対策や補講を行っているのは、良いことだと思います。今後も引き続き合格率100%を目指して指導にあたってください。

### 4 学修成果

就職率100%というのは、良いことですね。1年生のうちから行っている

就職関連の授業などが、就職への意識を高めるために効果的に作用しているのだと思います。

昨年も言いましたが離職率が業界全体で高いので、就職先でのミスマッチが起きないように、今後も面談を重ね、学生さん個々の能力に適した就職先とこののを決定していただければと思います。

## 5 学生支援

中途退学率が、下がりましたね。

担任による個別面談や教職員間による情報の共有が効果的に作用した結果だと思っています。

今後も、学生さんの異変をいち早く察知し、問題の早期解決を図れるよう指導にあたってください。

## 6 教育環境

特になし。

## 7 学生の募集と受入れ

特になし。

## 8 財 務

少子化が進む中で、学園全体の学生数も減少傾向にあるようですね。

学生さんの不利益にならないような、コストの見直しや削減を図り、健全な学校運営に取り組んでいただければと思います。

## 9 法令等の遵守

特になし。

以 上